

令和4年度

水道事業

下半期業務状況報告書

(令和4年10月1日～令和5年3月31日)

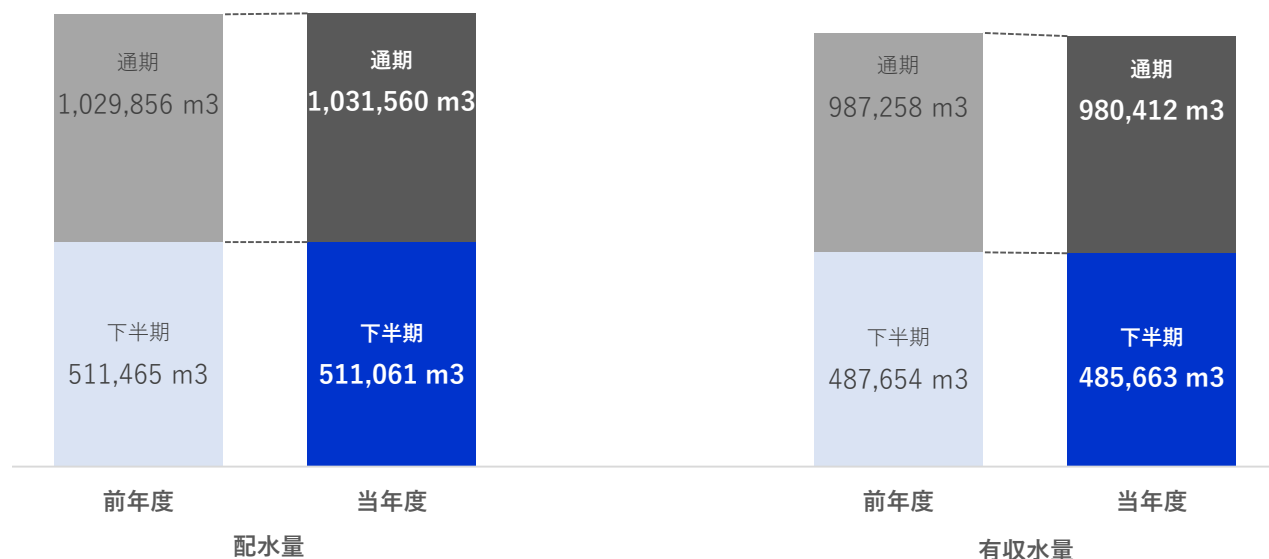
愛知県清須市

この業務状況報告書は、地方公営企業法第 40 条の 2 第 1 項及び清須市水道事業の設置等に関する条例第 7 条第 1 項の規定により、令和 4 年 10 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日までの業務の状況を説明しています。

第1 業務状況

1 配水量及び有収水量

下半期の配水量は前年度同期と比較して 0.1%減の 511,062m³、有収水量は 0.4%減の 485,663m³、通年を通してみると配水量は 0.2%増の 1,031,560m³、有収水量は 0.7%減の 980,412m³ となりました。有収水量が減少している要因としては、コロナ禍からの回復に伴い給水区域外の職場への通勤などが増加しているとみられます。



2 予算執行状況

(1) 収益的収支

収益的収入である水道事業収益の通期の執行率は 95.6%となりました。主なものは営業収益の給水収益です。

収益的支出である水道事業費用の通期の執行率は 85.7%となりました。営業費用の主なものは県水の受水費及び減価償却費です。営業外費用の主なものは支払利息です。

(2) 資本的収支

資本的収入の通期の執行率は 72.6%となりました。給水装置の新設に伴う水道管の延長工事について、これまで当事業発注工事だけでなく申込者による承認工事を認めることとしたため、工事負担金の収入が見込みより少なくなりました。

一方で水道管の漏水に伴う大規模な復旧工事及び配水場の機器の故障による更新工事に費用を要したことにより資本的支出の通期の執行率は 80.3%となりました。

(3) 棚卸資産購入限度額

棚卸資産購入限度額の通期の執行率は 45.1%となりました。量水器の購入に関して、入札を実施したため、購入金額の低減を図ることができました。

予算執行状況

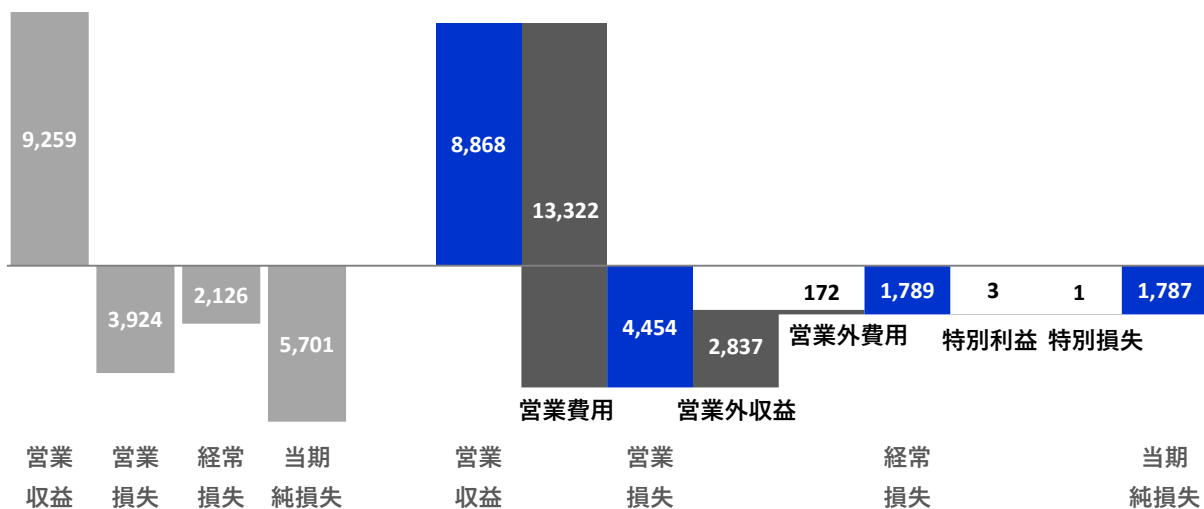
(単位：円)

| 予 算 科 目 | 予 算 現 額 | 執 行 額 | | 執 行 割 合 (通 期) |
|-----------|-------------|-------------|-------------|--------------------|
| | | | 下 半 期 分 | |
| 水道事業収益 | 235,436,000 | 224,960,886 | 125,887,261 | 95.6% |
| 営業収益 | 215,597,000 | 196,531,911 | 97,476,673 | 91.2% |
| 営業外収益 | 19,838,000 | 28,380,526 | 28,371,501 | 143.1% |
| 特別利益 | 1,000 | 48,449 | 39,087 | 4844.9% |
| 水道事業費用 | 229,401,000 | 196,711,268 | 140,710,062 | 85.7% |
| 営業費用 | 219,267,000 | 192,578,088 | 138,856,125 | 87.8% |
| 営業外費用 | 8,834,000 | 3,981,791 | 1,847,162 | 45.1% |
| 特別損失 | 300,000 | 151,389 | 6,775 | 50.5% |
| 予備費 | 1,000,000 | 0 | 0 | 0.0% |
| 資本的収入 | 161,595,000 | 117,282,380 | 15,064,380 | 72.6% |
| 他会計出資金 | 100,000,000 | 100,000,000 | 0 | 100.0% |
| 県補助金 | 5,400,000 | 7,200,000 | 7,200,000 | 133.3% |
| 工事負担金 | 56,195,000 | 10,082,380 | 7,864,380 | 17.9% |
| 資本的支出 | 159,057,000 | 127,782,636 | 97,128,039 | 80.3% |
| 建設改良費 | 110,420,900 | 79,146,653 | 72,043,759 | 71.7% |
| 固定資産購入費 | 1,096,100 | 1,096,100 | 1,096,100 | 100.0% |
| 企業債償還金 | 47,540,000 | 47,539,883 | 23,988,180 | 100.0% |
| 棚卸資産購入限度額 | 780,000 | 351,890 | 308,440 | 45.1% |
| 棚卸資産購入限度額 | 780,000 | 351,890 | 308,440 | 45.1% |

第2 経理の状況

1 損益計算書の概要

(単位：万円 単位未満四捨五入)



令和3年度下半期

(令和3年10月1日から令和4年3月31日まで)

令和4年度下半期

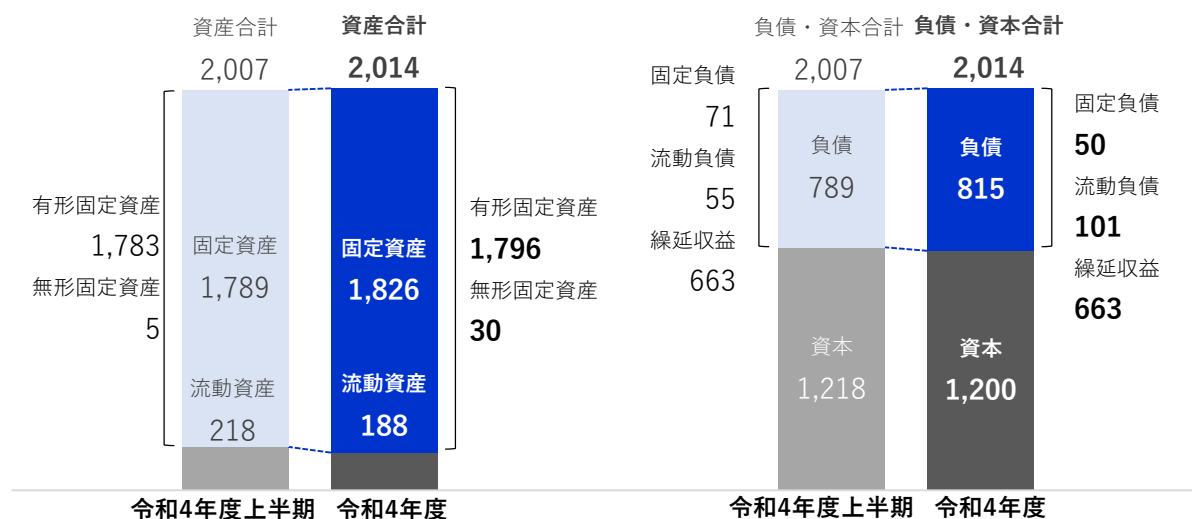
(令和4年10月1日から令和5年3月31日まで)

損益計算書の説明

契約の完了に伴う保守点検費を始めとする委託料の支払いが年度末に集中することや減価償却費の計上により営業費用が多額となり、当期純損失 17,865,839 円となりました。前年度同期との比較では、営業損失及び経常損失ともに同様の傾向にあります。

2 貸借対照表の概要

(単位：百万円 単位未満四捨五入)



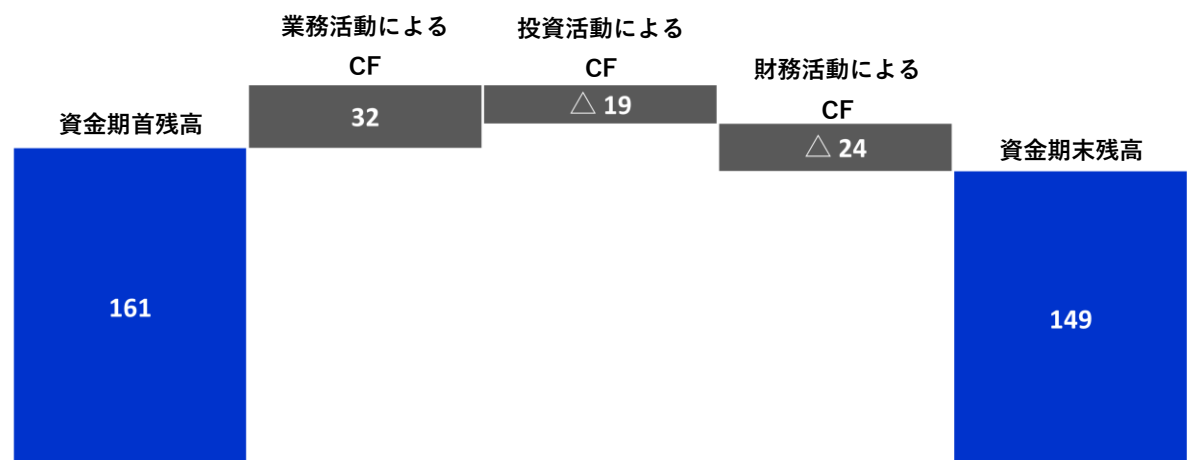
※ 令和4年度上半期は令和4年10月31日現在、令和4年度は令和5年3月31日現在

貸借対照表の説明

水道管の耐震化工事を始めとする投資により固定資産は前期と比較して2.1%増の1,826,068,650円、負債は3.3%増の814,670,759円となりました。負債が増えているのは未払金の増加による流動負債の増加によるものであり、固定負債は29.6%減の50,216,611円となっています。

3 キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円 単位未満四捨五入)



令和4年度下半期

(令和4年10月1日から令和5年3月31日まで)

キャッシュ・フロー計算書の説明

業務活動による資金の増加は 31,629,929 円となりました。投資活動による資金の減少は、水道管の耐震化工事を始めとする建設投資を主因として 19,403,650 円となりました。財務活動による資金の減少は 23,988,180 円となりました。主として企業債の償還によるものです。

第3 令和5年度の事業の経営方針及び予算の概要

1 事業の経営方針

(1) 基本方針

水道事業は、市民生活に必要不可欠なインフラであり、安定して継続的に水道水を供給することを目的として事業を実施します。公営企業として、損益情報やストック情報を的確に把握し、経営の効率化・健全化を推進するとともに、災害時におけるライフラインとしての機能維持を図るため、水道管の耐震化を推進します。

(2) 施策の展開

- ア 水道水の安定供給
施設の適正な維持
- イ 災害時における機能維持
水道管の耐震化（落合歩道橋の添架水管橋周辺の耐震化及び更新工事）
- ウ 事業の継続性の確保
経営管理の取り組み及び人材育成

2 予算の概要

(1) 収益的収支

収入では、節水機器の普及などによる料金収入の落ち込みを見込む一方、固定資産の増加に伴う長期前受金戻入の増収を見込んでいます。支出では、配水場の機器の修繕を新規で見込んでいることや燃料価格の高騰に伴う動力費の増大を見込んでいます。収入全体は横ばい、支出全体は5.3%の増となり、純損失4,273千円を見込む予算としました。

(2) 資本的収支

収入では、一般会計からの出資がなくなるとともに下水道工事に伴う補償工事負担金の増額を見込んでいます。支出では配水管の耐震化及び更新に係る工事費に加え、配水場の改良工事費や消費税の適格請求書保存方式に対応するためのプログラム改修費を見込んでいます。

予算の前年度比較

(単位：円)

| 予 算 科 目 | 当 年 度 | 前 年 度 | 増 減 |
|-----------|-------------|-------------|---------------|
| 水道事業収益 | 235,398,000 | 235,436,000 | △ 38,000 |
| 営業収益 | 210,600,000 | 215,597,000 | △ 4,997,000 |
| 営業外収益 | 24,797,000 | 19,838,000 | 4,959,000 |
| 特別利益 | 1,000 | 1,000 | 0 |
| 水道事業費用 | 238,990,000 | 227,053,000 | 11,937,000 |
| 営業費用 | 230,448,000 | 216,919,000 | 13,529,000 |
| 営業外費用 | 7,242,000 | 8,834,000 | △ 1,592,000 |
| 特別損失 | 300,000 | 300,000 | 0 |
| 予備費 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 |
| 資本的収入 | 79,337,000 | 161,595,000 | △ 82,258,000 |
| 他会計出資金 | 0 | 100,000,000 | △ 100,000,000 |
| 県補助金 | 2,700,000 | 5,400,000 | △ 2,700,000 |
| 工事負担金 | 76,637,000 | 56,195,000 | 20,442,000 |
| 資本的支出 | 176,096,000 | 159,223,000 | 16,873,000 |
| 建設改良費 | 116,675,000 | 110,875,000 | 5,800,000 |
| 固定資産購入費 | 15,688,000 | 808,000 | 14,880,000 |
| 企業債償還金 | 43,242,000 | 47,540,000 | △ 4,298,000 |
| その他資本的支出 | 491,000 | 0 | 491,000 |
| 棚卸資産購入限度額 | 670,000 | 780,000 | △ 110,000 |
| 棚卸資産購入限度額 | 670,000 | 780,000 | △ 110,000 |